

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印	遺産分割	<input checked="" type="checkbox"/> 調停	申立書
		<input type="checkbox"/> 審判	
(この欄に被相続人1名につき収入印紙1, 200円分を貼ってください。)			
印紙			
(貼った印紙に押印しないでください。)			
収入印紙	円		
郵便切手	円		
作成日	東京家庭裁判所 御中	申立人 (法定代理人など) の記名押印	乙川 春子 印
	平成 年 月 日		

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)		準口頭
	<input checked="" type="checkbox"/> 戸籍(除籍・改製原戸籍)謄本(全部事項証明書) 合計 ● 通		
	<input checked="" type="checkbox"/> 住民票又は戸籍附票 合計 ● 通	<input checked="" type="checkbox"/> 不動産登記事項証明書 合計 ● 通	
	<input checked="" type="checkbox"/> 固定資産評価証明書 合計 ● 通	<input checked="" type="checkbox"/> 預貯金通帳写し又は残高証明書 合計 ● 通	
	<input checked="" type="checkbox"/> 有価証券写し 合計 ● 通		

当事者	別紙当事者目録記載のとおり		
被相続人	本籍 (国籍)	〇〇 都府県 〇〇市 〇〇町 〇〇番地	
	最後の住所	〇〇 都府県 〇〇市 〇〇町 〇〇番地	
	フリガナ	コウノ タロウ	
	氏名	甲野 太郎	昭和 〇〇年 〇月 〇日 死亡 平成

申立ての趣旨
被相続人の遺産の分割の (<input checked="" type="checkbox"/> 調停 / <input type="checkbox"/> 審判) を求める。

申立ての理由	
遺産の種類及び内容	別紙遺産目録記載のとおり
被相続人の債務	<input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 / <input checked="" type="checkbox"/> 不明
☆特別受益	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無 / <input type="checkbox"/> 不明
遺言	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無 / <input type="checkbox"/> 不明
遺産分割協議書	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無 / <input type="checkbox"/> 不明
申立ての動機	<input checked="" type="checkbox"/> 分割の方法が決まらない。 <input type="checkbox"/> 相続人の資格に争いがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 遺産の範囲に争いがある。 <input type="checkbox"/> その他()

(注) 太枠の中だけ記入してください。 □の部分は該当するものにチェックしてください。

＜☆の部分は、被相続人から生前に贈与を受けている等特別な利益を受けている者の有無を選択してください。「有」を選択した場合には、遺産目録のほか、特別受益目録を作成の上、別紙として添付してください。＞
遺産(1/)

当事者目録

相手方に知らせてよい住所を記載し、併せて「連絡先等の届出書」を提出してください。連絡先を相手方に秘匿したい場合には、同届出書に「非開示の希望に関する申出書」を付けて提出してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/> 申立人	本籍 (国籍)	〇〇 都道府県 〇〇市 〇〇町 〇〇番地	
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 東京都千代田区霞が関1丁目1番2号	
	フリガナ	オツカワ	ハルコ
	氏名	乙川	春子
被相続人との続柄		長女	
<input type="checkbox"/> 相手方 <input checked="" type="checkbox"/> 申立人	本籍 (国籍)	〇〇 都道府県 〇〇市 〇〇町 〇〇番地	
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 東京都中央区九段下4丁目1番7号	
	フリガナ	コウノ	ハナコ
	氏名	甲野	花子
被相続人との続柄		妻	
<input type="checkbox"/> 相手方 <input checked="" type="checkbox"/> 申立人	本籍 (国籍)	〇〇 都道府県 〇〇市 〇〇町 〇〇番地	
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 東京都台東区祝田橋9丁目3番1号	
	フリガナ	コウノ	イチロウ
	氏名	甲野	一郎
被相続人との続柄		長男	
<input type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/> 申立人	本籍 (国籍)	都道府県	
	住所	〒 - () 方	
	フリガナ		
	氏名	大正昭和平成 年 月 日生	
被相続人との続柄			
<input type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/> 申立人	本籍 (国籍)	都道府県	
	住所	〒 - () 方	
	フリガナ		
	氏名	大正昭和平成 年 月 日生	
被相続人との続柄			

土 地

全部事項証明書

東京都千代田区一丁目11-10

全部事項証明書（土地）

表 題 部 (土地の表示)		調整	平成●●年●●月●●日	不動産番号	1234567890
地図番号	余白	筆界特定	余白		
所 在	東京都千代田区一丁目			余白	
① 地 番	② 地 目	③ 地 積	m ²	原因及びその日付 [登記の日付]	
11番10	宅地	204	13	11番9から分筆	
余白	余白	148	86	[平成●●年●●月●●日]	
				11番10, 同番5ないし同番9に分筆	

注意!
数字に下線があるものは過去の数字なので書きません。

遺産目録【土地】

<記載例1>

番号	所 在	地 番	地 目	地 積	備 考
1	東京都千代田区一丁目	11 10	宅地	平方メートル 148 86	建物1の敷地

<記載例2> 登記と現況が異なる場合

番号	所 在	地 番	地 目	地 積	備 考
2	東京都千代田区一丁目	11 10	宅地 (現況 畑)	平方メートル 148 86 (現況) 124 57	被相続人持分2/3 申立人持分1/3

<記載例3> 借地権の場合

番号	所 在	地 番	地 目	地 積	備 考
3	借地権 (借地の表示) 東京都千代田区一丁目	11 10	宅地	平方メートル 148 86 借地部分 124 57	建物2の敷地

※ 土地1筆（登記事項証明書単位）ごとに番号を付けてください。

※ 所在欄,地番欄,地目欄,地積欄は、**登記事項証明書のとおり**に記載してください。

【地目、地積について】

・現況が登記事項証明書の記載と異なるときは、固定資産評価証明書等を参照しながら、現況をカッコ書きで記載してください。→ 記載例2を参照

＜例＞地目欄：「(現況 畑)」 ＜例＞地積欄：「(現況○○平方メートル)」

・借地権の借地部分が1筆の土地の一部の場合は、地積欄に借地面積を賃貸借契約書等を参照しながら、記載してください。→ 記載例3を参照

【備考欄の記載について】

① 土地上の建物がある場合

＜例＞ 「建物1の敷地」 ＜例＞ 「建物は相手方所有」

② 土地の利用状況

＜例＞ 「相手方E所有建物の敷地」 ＜例＞ 「貸駐車場」 ＜例＞ 「Gに賃貸」 ＜例＞ 「更地」

③ 共有の場合

＜例＞ 「被相続人2/4, K1/4, 相手方N1/4」

④ 被相続人以外の者が登記名義人である場合や相続登記をしている場合

＜例＞ 「登記名義人A」 ＜例＞ 「相続登記 申立人1/2, 相手方M1/4, 相手方P1/4」

建 物

全部事項証明書

東京都千代田区一丁目11-10

全部事項証明書 (建物)

表題部 (主である建物の表示)	調整	平成●●年●●月●●日	不動産番号	1234567890	
所在図番号	余白				
所在	東京都千代田区一丁目 2 4 番地 8 ①			余白	
家屋番号	3 4 番地 9 ②			余白	
① 種類	② 構造	③ 床面積 m		原因及びその日付 [登記の日付]	
居宅 ③	木造瓦葺 2 階建 ④	1 階	1 0 4	1 3	平成●●年●●月●●日新築
		2 階	4 5	7 1	
余白	余白	1 階	1 0 8	8 6	平成●●年●●月●●日改築
		2 階	6 9	4 2	

注意!
 数字に下線があるものは過去の数字なので書きません。

遺産目録【建物】

<記載例 1>

番号	所在	家屋番号	種類	構造	床面積	備考
1	東京都千代田区一丁目 2 4 番地 8 ①	3 4 番地 9 ②	居宅 ③	木造瓦葺 2 階建 ④	平方メートル 1 階 1 0 8 8 6 2 階 ⑤ 6 9 4 2	申立人居住 敷地は土地 1

<記載例 2> 登記と現況が異なる場合

番号	所在	家屋番号	種類	構造	床面積	備考
2	東京都千代田区一丁目 2 4 番地 8	3 4 番地 9	居宅	木造瓦葺 2 階建 (現況 スレート葺)	平方メートル 1 階 1 0 8 8 6 2 階 6 9 4 2 (現況) 2 階部分 7 1 4 2	被相続人持分 2 / 3 申立人持分 1 / 3

<記載例 3> 敷地が借地の場合

番号	所在	家屋番号	種類	構造	床面積	備考
2	東京都千代田区一丁目 2 4 番地 8	3 4 番地 9	居宅	木造瓦葺 2 階建	平方メートル 1 階 1 0 8 8 6 2 階 6 9 4 2	敷地利用権は土地 3 の借地権

<記載例 4> 未登記の場合

番号	所在	家屋番号	種類	構造	床面積	備考
4	(未登記建物) 東京都千代田区一丁目		居宅	木造瓦葺 2 階建	平方メートル 1 階 1 0 8 8 6 2 階 6 9 4 2	敷地は土地 1

- ※ 建物 1 棟 (登記事項証明書単位) ごとに番号を付けてください。
- ※ 所在欄, 家屋番号欄, 種類欄, 構造欄, 床面積欄は, **登記事項証明書のとおり**に記載してください。
- ※ 未登記建物の場合は, 固定資産評価証明書を参照してください(家屋番号の記載不要)。→ 記載例 4 を参照【構造, 床面積について】

・ 現況が登記事項証明書の記載と異なるときは, 固定資産評価証明書等を参照しながら, 現況をかつこ書きで記載してください。→ 記載例 2 を参照

＜例＞ 構造欄: 「(現況 スレート葺)」 ＜例＞ 床面積欄: 「(現況○○平方メートル)」

【備考欄の記載について】

- ① 建物の敷地 → 記載例 3 を参照
 ＜例＞ 「敷地は土地 1」 ＜例＞ 「敷地利用権は土地 3 の借地権」 ＜例＞ 「敷地は申立人所有」
- ② 建物の利用状況 → 記載例 1 を参照
 ＜例＞ 「申立人居住」 ＜例＞ 「G に賃貸」
- ③ 共有の場合 → 記載例 2 を参照
 ＜例＞ 「被相続人持分 2 / 4, K 1 / 4, 相手方 N 持分 1 / 4」
- ④ 被相続人以外の者が登記名義人である場合や相続登記をしている場合
 ＜例＞ 「登記名義人 A」 ＜例＞ 「相続登記 申立人 1 / 2, 相手方 M 1 / 4, 相手方 P 1 / 4」

建 物 (区分所有)

全部事項証明書

東京都千代田区霞が関一丁目1-2-1201

全部事項証明書 (建物)

専有部分の家屋番号	11-8-111, 11-8-121~11-8-128, 11-8-221~11-8-228			
表題部 (一棟の建物の表示)	調整	平成●●年●●月●●日	所在図番号	1234567890
所 在	東京都千代田区霞が関一丁目 24番地8	[余白]		
	東京都千代田区一丁目 1番地2	平成●●年●●月●●日変更 平成●●年●●月●●日登記		
建物の名称	カークンコート日比谷		[余白]	
① 構造	② 床面積 m ²	原因及びその日付 [登記の日付]		
鉄筋コンクリート 造陸屋根5階建	1階 270	13	平成●●年●●月●●日新築	
	2階 377	71		
	3階 337	71		
	4階 253	97		
	5階 120	12		
表題部 (敷地権の目的である土地の表示)				
①土地の符号	②所在及び地番	③地目	④地積 m ²	登記の日付
-	-	-	-	-

注意!
数字に下線があるものは過去の数字なので書きません。

表題部 (専有部分の建物の表示)			不動産番号	123456789
家屋番号	霞が関一丁目 1番地2の1201	この表題部を参照して下さい。		
建物の名称	1201	[余白]		
① 種類	② 構造	③ 床面積 m ²	原因及びその日付 [登記の日付]	
③ 居宅	鉄筋コンクリート造1階建	⑤ 1階部分 17.16	-	

表題部 (敷地権の表示)			
①土地の符号	②敷地権の種類	③敷地権の割合	原因及びその日付 [登記の日付]
-	-	-	-

表題部(敷地権の表示)があれば、「敷地権の表示あり」となりますので、備考欄にその旨の記載をしてください。

遺産目録【建物】

<記載例1>

番号	① 所在	家屋番号	種類	構造	床面積	備考
1	(区分所有建物) 東京都千代田区霞が関一丁目1番地2 カークンコート日比谷	1201	居宅	鉄筋コンクリート造 1階建	平方メートル 1階部分 17.16	敷地権の表示あり

※ 建物1棟(登記事項証明書単位)ごとに番号を付けてください。

※ 所在欄、家屋番号欄、種類欄、構造欄、床面積欄は、**登記事項証明書のとおり**に記載してください。

- ・所在欄には、「(区分所有建物)」と記載した上で、**所在と建物の名称**を記載してください。
- ・家屋番号欄には、「専有部分の建物の表示」の「建物の名称」(**家屋番号ではありません。**)を記載してください。
- ・種類欄、構造欄、床面積欄には、「【表題部】(**専有部分**の建物の表示)」を参照して記載してください。
- ・床面積欄には、必ず**階数**も記載してください。

※ 「敷地権の表示」の記載がない場合、敷地と建物の一本化がされていないので、敷地を遺産目録【土地】に記載してください。

【備考欄の記載について】

- ①区分所有建物の利用状況
 <例>「申立人居住」 <例>「Gに賃貸」
- ②共有の場合
 <例>「被相続人2/4, K1/4, 相手方N1/4」
- ③被相続人以外の者が登記名義人である場合や相続登記をしている場合
 <例>「登記名義人A」 <例>「相続登記 申立人1/2, 相手方M1/4, 相手方P1/4」
- ④敷地と区分建物の一本化がされている場合 ※【表題部(敷地権の表示)】があれば一本化あり
 <例>「敷地権の表示あり」

現金

遺産目録【現金, 預・貯金, 株式等】

<記載例1>

番号	品目	単位	数量 (金額)	備考
1	現金		424,534円	相手方E保管

<記載例2>

番号	品目	単位	数量 (金額)	備考
1	現金 (〇〇銀行預金払戻金)		1,250,000円	申立人保管

※ 品目欄に「現金」と記載してください。

※ 金額は、現在額を記入してください。

※ 備考欄に、必ず**保管者**を記載してください。→記載例参照

※ 相続開始後に預金を払い戻すなどして現金化し、申立時点において保管されている現金がある場合には、現金として記載した上、相続開始時における財産内容をカッコ書きで明らかにしてください。→記載例2参照

<例> 「現金 (〇〇銀行預金払戻金)」 <例> 「現金 (〇〇還付金)」

預・貯金

遺産目録【現金, 預・貯金, 株式等】

<記載例 1>

番号	品目	単位	数量 (金額)	備考
1	〇〇銀行△△支店 普通預金 (口座番号〇〇〇〇〇〇〇〇)		3, 104, 000円	通帳は 相手方保管

(注意) 原則として、現在残高(相続開始時ではない)を記載してください。

<記載例 2>

番号	品目	単位	数量 (金額)	備考
1	ゆうちょ銀行 定額貯金 (預入日 平成〇年〇月〇日) (記号番号〇〇〇-〇〇〇〇) (個別番号〇〇〇〇)		1, 035, 000円	通帳は 相手方保管

(注意) 原則として、現在残高(相続開始時ではない)を記載してください。

※ 品目欄には、**銀行名**、**支店名**(ゆうちょ銀行の場合は不要)、**預金・貯金の種類**(普通預金や定期貯金などの区別)、**口座番号又は記号番号**、**その他特定番号(例: 証書番号、個別番号)の記載をしてください。**

※ 定額貯金は、「旧郵便局」取扱分も「ゆうちょ銀行」とし、**預入日**を記載してください。→ 記載例 2

※ 単位欄には、記入不要です。

※ 数量(金額)欄には、**現在残高(現存する残高)**を記載してください。

(不明な場合は既に手元にある資料から分かる申立時に最も近い日の残高を記載してください。この場合には必ず数量(金額)欄に括弧書きで「(平成〇〇年〇〇月〇〇日残高)」などと記載し、備考欄には「現在額は不明」と記載してください。)

※ 備考欄に、必ず通帳や証書等の**保管者**を記載してください。

※ 相続開始後に預金を払い戻すなどして現金化し、申立時点において保管されている現金がある場合には、現金として記載したうえ、相続開始時における財産の内容をかつ書きで明らかにしてください。

→ **現金** 参照

<例> 「現金 (〇〇銀行預金払戻金)」

株 式

遺 産 目 録 【現金, 預・貯金, 株式等】

<記載例 1> 上場株式

番号	品 目	単 位	数 量 (金 額)	備 考
5	〇〇株式会社 株式	49円	8,000株	〇〇証券〇〇支店扱い 平成〇年〇月〇日終値

<記載例 2> 非上場株式

番号	品 目	単 位	数 量 (金 額)	備 考
1	〇〇株式会社 株式 (代表取締役 申立人)		1,200株	株券は申立人保管

【上場株式の場合】

- ・品目欄： 株式会社名及び株式の文言を記載してください。
- ・単位欄： 1株あたりの株価を記載してください。
- ・数量(金額)欄： 株式数を記載してください。
- ・備考欄

【取扱証券会社名と支店名】

<例> 「〇〇証券〇〇支店扱い」

【株価の基準時】 (申立て直近の日の終値を記載してください。)

<例> 「平成〇〇年〇〇月〇〇日終値」

【非上場株式の場合】

- ・品目欄： 会社名及び株式の文言を記載してください。
[相続人やその親族が代表者の場合]
→ カッコ書きで代表取締役の氏名等の記載してください。
- ・数量(金額)欄： 株式数を記載してください。(単位欄は記載する必要はありません。)
- ・備考欄： 相続人が株券を保管しているときは,その旨を記載してください。
<例> 「株券は相手方Aが保管」

※ 旧有限会社(特例有限会社)の出資持分も,非上場株式に準じて株式に記載してください。

投資信託

遺産目録【現金、預・貯金、株式等】

<記載例1>

番号	品目	単位	数量（金額）	備考
8	(投資信託) 〇〇証券△△支店 MMF (契約番号〇〇-〇〇〇〇)	1円 (1口単位)	8,543口 (平成〇年〇月〇日残高)	

- ※ 品目欄：「（投資信託）」と記載した上、取扱証券会社等名、支店名、商品の名称、契約番号を記載してください。
- ※ 単位欄：販売・解約の最小単位、及び最小単位あたり（1口単位のものや1万口単位のものもある。）の金額を記載してください。
- ※ 数量（金額）欄：口数を記載してください。
- ※ 数量（金額）欄：取扱証券会社から残高証明書を取得するなどして、申立て直近の口数を記載してください。現在残高を記載できない場合には、判明した日付を併記し（例えば、相続開始時）、必ず備考欄に「現在額は不明」と記載してください。
- ※ 外貨建てMMFは、投資信託として記載してください。

国 債

遺 産 目 録 【現金, 預・貯金, 株式等】

<記載例>

番号	品 目	単 位	数 量 (金 額)	備 考
8	(国債) 〇〇銀行〇〇支店扱い 利付国債10年513回	額面 10万円	10口	

※ 品目欄：「(国債)」と記載した上、取扱金融機関名と支店名、国債の種類・発行回数
(例えば、利付国債10年第〇〇回など)を記載してください。

※ 単位欄： 額面金額を記載してください。

※ 数量(金額)欄： 口数を記載してください。

出 資 金

遺 産 目 録 【現金, 預・貯金, 株式等】

<記載例>

番号	品 目	単 位	数 量 (金 額)	備 考
10	(出資金) 〇〇信用金庫〇〇支店	50万円	2口	証書は相手方が保管

※ 品目欄：「(出資金)」と記載した上、出資先の金融機関名と支店名を記載してください。

※ 単位欄： 1口あたりの出資金額を記載してください。

※ 数量(金額)欄： 出資口数を記載してください。